

「武養の感染症対策」

*時差登校

- 昇降口の混雑緩和と安全対策として、時差登校を実施。

*登校時の健康観察

- 昇降口での児童・生徒の健康観察。
- 検温を済ませていない児童生徒についての検温。

*衛生対策

<登校時>

- 登校時の検温・体調確認。（昇降口）
- 昇降口で待機するときは間隔をあけての着席。（ソーシャルディスタンスマーク設置）
- 大きい集団にならないように少人数のグループに分かれて移動。
- うがい・手洗い。

<着替え>

- 着替えの教室に入る人数の調整。（密集・密接防止）
- カーテンを閉めた状態での換気。

<クラス活動>

- 机の対面を避けて、間隔を確保。
- 窓を開けての換気。
- エアコン使用時の換気。
- 換気扇・扇風機の使用。
- 持ち物の管理。（水筒・タオルなど管理方法の確認）
- 共有物（教材など）は使用後に消毒。

<特別教室での授業>

- 使用前の換気。
- ドアノブやスイッチ等を中心にその他必要な場所・物の消毒。
- 消毒後チェックリストへの記入。
- 用具等を共同で扱う場合、使用前後の手洗い。
- 3つの密の回避。
- 授業内容の工夫。

<トイレ>

- 窓を開けて換気。
- 出入口のドアを開けて換気。
- 待つときには密集しないように廊下で間隔を確保。
- トイレ後の手洗い。
- 介助をするときにはマスク、必要に応じて使い捨て手袋・フェイスシールドを着用。
- 適宜使用後に消毒。

<給食>

- 教員・介助員のみでの配膳。
- 配膳前に手洗い。
- 配膳時にマスクを着用。
- 食べる直前に全員が手洗い。
- 給食指導をしながら教員は喫食をしない。
- 給食指導時にはマスク・必要に応じてフェイスシールドの着用。
- 向かい合って食べない。
- 食事中は会話を控える。
- 間隔をあけての喫食。
- 教員がマスクを着用しての下膳。
- 残菜はビニール袋に入れて密封し処理。（落ちた食材等も同じ）
- 落ちたものはティッシュ等で取り除いた後に床を消毒。

- 牛乳パックは児童生徒が開かずに教員が開いて洗浄。

<歯みがき>

- 周りの人との距離を2m以上確保。
- 介助をするときはマスク、必要に応じて使い捨て手袋・フェイスシールドを着用。
- 歯磨き介助ごとに手洗い、手袋の交換。
- 歯ブラシは毎日持ち帰る。

<体調不良者への対応>

- 別室で対応。（検温）
- 発熱・症状がみられる場合は保健室ではなく発熱者休養室へ。
- 対応者はマスク・フェイスシールドを着用。

<ごみの処理方法>

- マスクや鼻をかんだティッシュ等は蓋つきのごみ箱に捨てる。
- 児童生徒下校後、ビニール袋に入れ密封し指定された集積場所のごみ箱に捨てる。
- 処理は教員が行う。

<消毒>

- 必要な物・場所を適宜消毒。
 - ・登校前(下校後の消毒後に教室等を使用した場合)
 - ・休み時間
 - ・食前
 - ・食後
 - ・はみがき後
 - ・下校後、使用した物・場所を消毒。

*スクールバスの感染症対策

- 乗車時の検温・体調確認（検温していない場合は乗車前に検温）
- バスに乗車する際にマスクの着用・手指消毒。
- 車内換気
- 定員7割未満乗車。（送迎協力依頼）
- 運転席のビニールカーテン設置。
- 運行前、降車後の車内清掃・消毒。

*チェックシートの活用

- 対策のふりかえり、評価、再検討、改善。